

平成27年4月9日
日本貨物鉄道株式会社
イオン株式会社
イオングローバルSCM株式会社

東京⇔大阪間、8社で専用列車を運行！ 4月12日・19日 「イオン鉄道輸送研究会」専用列車を運行

業界を超え、共同でCO2排出量削減を目指します

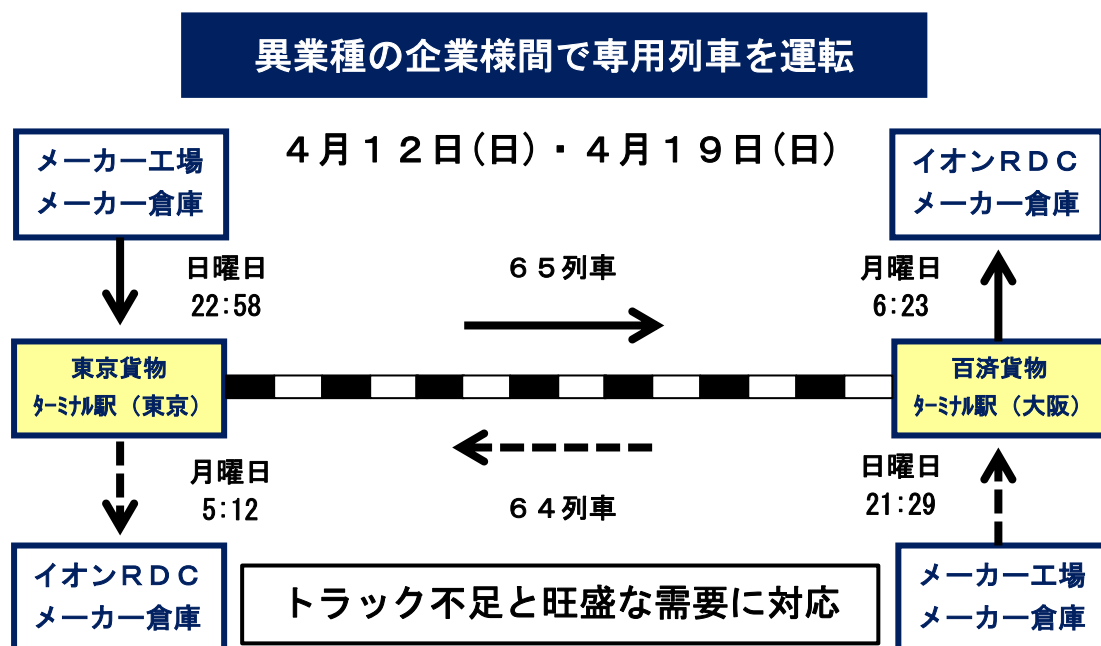
日本貨物鉄道株式会社（以下、JR貨物）とイオンの物流を担うイオングローバルSCM株式会社（以下、イオングローバルSCM）が幹事を務める「イオン鉄道輸送研究会」は、環境保全への取組みとともにゴールデンウィーク前の旺盛な需要に対応するため、昨年12月に引き続き、共同で、東京⇔大阪間に専用列車の運行を行います。

この列車は、イオングローバルSCMが、同研究会に参加する各メーカー21社の企業に呼びかけ、昨年12月に運行を行なった際のアサヒビール株式会社、江崎グリコ株式会社、花王株式会社、ネスレ日本株式会社の各社に、今回、味の素株式会社、サッポロビール株式会社、プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社（P&G）の3社が加わり、あわせて8社がこれに賛同し、実現しました。

ゴールデンウィーク前の需要が旺盛となる4月12日（日）と19日（日）に、東京（夕）駅発百済（夕）駅行き（第65列車）と百済（夕）駅発東京（夕）駅行き（第64列車）を専用列車として運転致します。

JR貨物とイオングローバルSCMは、今後も「イオン鉄道輸送研究会」を通じて業界を超えたモーダルシフトを積極的に進め、参加企業のニーズに応じた弾力的な列車運行を実施していきます。

※（夕）は貨物ターミナルの略



【取組みの目的】

- イオン・アサヒビール・味の素・江崎グリコ・花王・サッポロビール・ネスレ日本・P & G
 - (1) トラック輸送から鉄道コンテナ輸送にシフトすることによる安定輸送の実現
 - (2) 各賛同企業とイオンによる環境活動メッセージの発信
- JR貨物
 - 日曜日列車を運行することによるモーダルシフトの推進

【専用貨物列車の概要】

- 東京⇄大阪間にて各社共同による2編成(上り・下り)の専用列車を運行
4月12日(日)・19日(日)相互発運転
- (1) 日曜日夜発⇒月曜日早到着
 - (2) 12ftコンテナ120基(24車両600トン編成)
 - (3) 東京貨物ターミナル駅⇄百済貨物ターミナル駅間の列車運行